



学校だより

# とき・あかし錦城

2022年(令和4年)

1月7日(第81号)

明石市立錦城中学校

あけましておめでとうございます

校長 谷郷昌弘

2022年(令和4年)の幕開けとなりました。新しい年に皆さんはどんなことを思ったのでしょうか。1年の計は元旦にあり、です。欲張らず、まず一つ目標を定めてこの一年、一步一步進んでいきましょう。

今日から学校の中心は2年生へと移ります。第76期の生徒会執行部は、早速に始業式の準備そして生徒集会の進行と大きな仕事がありました。これから1年間、よろしくお願いします。

1年生のみなさんはこれから上級生になる助走期間ですね。春に新1年生を迎えたとき、先輩として優しく導いてあげられるよう、毎日の生活を見直してみてください。

3年生は言うまでもなく自分の進路をつかむ大切な時期です。目指す方向は定まれていると思いますが、残された時間に少しでも自分の力を高められるよう努力を続けてください。

中庭の桜の木。すっかり葉も落ちて枯れてしまったかのようにも見えますが、近づいて枝々をよく見てください。小さな「芽」がたくさんついているのがわかります。厳しい冬の最中に来るべき春の準備をしているのです。その他の植物、名も知らぬ雑草も、今は枯草でも地中ではすでに春に向けての助走が始まっています。「春」は誰にでも公平にやって来るのですね。

ようやく収まりかけたかに見えた新型コロナウイルス感染症でしたが、年末年始を過ぎて、またもや感染が広がる気配です。ここが正念場かもしれません。「またか」「どうせ」とあきらめや投げやりにはならず、これまで続けてきた対策を粘り強く続けましょう。みんなでがんばって乗り越えられた、という日は必ず来ます。

保護者の皆様、地域の皆様、困難な状況が続く中ではありますが、令和4年も変わらず錦城中学校を支えてくださいますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

## 中庭 お正月バージョン

中庭の「KINJO」プレートがお正月バージョンにグレードアップされています。

用務員さんの力作です。

生徒会執行部とのぞみ学級・くみ学級がお手伝いして作ってくれた花壇のお花もそうですが、常におだやかに落ち着いて学習できる環境を工夫して作ってくださっています。

あたりまえに見える風景もすべて人の手が加えられてできています。

ありがたいことです。



だれかのおかげで今日の自分があります

この時期になると、自分の学生時代のこと(正確には高校最後の冬)を思い出します。それまで勉強に身が入らず、受験なんか楽勝だと高をくくっていました。誰にもろくに相談せず、自分で勝手に受験校を決め、しかも余裕で合格すると思っていた自分。進路の先生のアドバイスもうわの空。今思い返すと「おまえはあほか」と言ってやりたくなるくらいです。自分に都合のいいデータだけ見て安心し、地道に努力することに欠けていたのです。

結果はもちろん散々なものでした。このとき初めて「挫折」というものを味わいました。最後に通知の来た大学にだけ、かろうじて合格させてもらったようなものでした。

こんな調子ですから、学生生活スタートからなげやりな生活態度。それでも今があるのは親身になって気にかけてくださった大学の先生、単位を落とさせまいと引きずるように(実際、引きずられました)教室に運んでくれた友だち。勉強の仕方でもそこで彼らから教わったようなものでした。

その後も、今日まで挫折は山ほどありました。でも、そのたびに力になってくれる人が現れる。まさに「拾う神あり」です。

人生はうまくいくことばかりではありません。むしろ思うようにならないことだらけです。でも、思うとおりの道でなくても、この道を通ってよかったなあと考える日が来るものです。助けてくれる人はきっといます。「たゆまぬ努力」など到底無理な私でしたが、人に助けられて今があります。あなたにも助けてくれる人がかならずいます。